

平成30年度

決算状況

唐津市

平成30年度決算の概要

平成30年度の決算状況は、一般会計においては、歳入総額73,430,371千円、歳出総額72,555,076千円で、歳入歳出差引額875,295千円の黒字決算となりました。また、特別会計においては、各会計とも歳入歳出同額又は黒字決算となりました。

平成30年度は、「唐津P R I D E（プライド）～誇れるふるさと唐津の創生～」の本格的なスタートの年と位置付け、生産力・観光力・教育力・安心力・発信力の総合力である「からつ力」発動への契機となる施策を中心に事業を展開しました。

まず、「生産力」を発動させるための事業として、農業及び漁業を明日の世代に引き継いでいくための助成を行ったほか、足腰の強い産業基盤の確立を図るため、農地・農業用施設、林道、漁港施設などの整備を行いました。また、創業準備者等への支援を強化するため、創業・経営相談窓口の拡充を行ったほか、インバウンド需要など時代の要請を踏まえ、まちなかの集客交流促進に向けた、中町商店街W i - F i 整備に対する補助を行いました。さらに、スマートレジエンス拠点構築に向け、太陽光発電や下水バイオガス発電などの再生可能エネルギーの複合的導入について調査等を行いました。このほか、ふるさと寄附金の受け入れ窓口の拡充を行い、地場産業の振興を図りました。

次に「観光力」を発動させるための事業として、話題のアニメコンテンツを活用し、コラボイベントを行うなど国内外からの集客促進に向けた事業を展開しました。また、唐津の魅力を積極的にP R するため、唐津観光大使を制度化したほか、クルーズ船などの唐津港への寄港誘致活動を行い、唐津港の振興と活性化を図りました。さらに、スポーツ・文化の振興による交流人口の増加を図るため、唐津市野球場などの体育施設を整備したほか、各種競技大会に出場する選手等への奨励金の拡充を行い、唐津を代表するアスリート等の育成を支援しました。

「教育力」を発動させるための事業として、小中学校の校舎等の大規模改造や改築を計画的に進めるとともに、教室へのエアコン設置に向けた実施設計及び工事に着手し、学習環境の整備充実を図りました。

「安心力」を発動させるための事業として、市道の道路改良事業や橋りょう等の長寿命化、市営住宅の外壁改修といった生活環境の整備を行いました。また、子育て世代の負担軽減のため、多子世帯に対する保育料軽減を継続したほか、国による幼児教育・保育の無償化に先駆け、5歳児の保育料軽減を行いました。さらに、高齢者による交通事故を防止するため、運転免許証を自主返納した高齢者にタクシー券を交付したほか、在宅の障がい者への日常生活用具の給付費を拡充しました。そのほか、災害に強いまちづくりの実現に向け、原子力防災ガイドブックの作成・配布や、高機能消防指令センターの更新整備を行いました。

最後に「発信力」を発動させるための事業として、市民センターの機能強化を図るため、浜玉市民センターについては、浜玉公民館を解体し、市民センター、社会体育館及び公民館を含めた複合施設整備に向けた実施設計を行いました。また、明治維新150年事業として県が開催した肥前さが幕末維新博覧会と連動し、唐津が誇る文化や伝統、技術などをアピールし関連イベントを開催しました。

このほか、平成30年7月豪雨等により被災した農林水産業施設や土木施設等の復旧事業を行い、早期復旧に努めました。

会計別決算の状況

【一般会計・特別会計】

一般会計とは…税金や、国・県からの補助金や交付金などを財源として、福祉・医療・教育・土木など、市民生活に直接関わるさまざまな事業を行う会計です。

特別会計とは…決められた特定の事業を行う場合に、保険料や利用料金など特定の収入を財源として行う会計で、一般会計とは区別して経理しています。

(単位 千円)

会計別	区分	歳入総額 A	歳出総額 B	歳入歳出 差引額 (A - B)	翌年度へ繰 越すべき財源	実質収支 (C - D)
				C	D	
一般会計		73,430,371	72,555,076	875,295	318,650	556,645
特別会計	国民健康保険	15,902,576	15,625,313	277,262		277,262
	後期高齢者医療	1,564,167	1,560,539	3,628		3,628
	介護保険	12,976,610	12,635,913	340,697		340,697
	養護老人ホーム	292,891	292,891	0		0
	介護サービス事業	45,275	31,356	13,920		13,920
	下水道	5,703,805	5,703,805	0		0
	集落排水	1,030,550	1,030,550	0		0
	浄化槽整備	358,341	358,341	0		0
	観光施設	31,879	31,879	0		0
	有線テレビ事業	584,867	555,715	29,152		29,152
	北波多中央部開発事業	233,508	233,508	0		0
	計	38,724,470	38,059,811	664,659		664,659
合計		112,154,841	110,614,886	1,539,954	318,650	1,221,304

(備考) 端数整理のため差引額または合計額が一致しない部分があります。

一般会計の実質収支額556,645千円のうち、基金に300,000千円を繰り入れ、剰余金256,645千円が純繰越金です。

【公営企業会計】

公営企業会計とは…地方公営企業法に定められた独立採算を原則とする会計で、唐津市には4つの企業会計があります。

(単位 千円)

公営企業名		収入	支出	収入支出差引額
水道事業会計	収益的収入及び支出	3,253,025	2,780,765	472,260
	資本的収入及び支出	757,103	1,959,934	△ 1,202,831
工業用水道事業会計	収益的収入及び支出	87,084	107,179	△ 20,095
	資本的収入及び支出	21,505	32,181	△ 10,676
市民病院きたはた事業会計	収益的収入及び支出	626,514	598,165	28,349
	資本的収入及び支出	51,724	70,959	△ 19,235
モーターボート競走事業会計	収益的収入及び支出	50,838,541	48,161,808	2,676,733
	資本的収入及び支出	5,000	628,940	△ 623,940

※収益的収入及び支出…経常的な営業活動にかかる収支（現金の支出を伴わない減価償却費等を含みます。）

※資本的収入及び支出…建設費など財産形成にかかる収支（収入額が支出額に対して不足する額は、内部留保資金で補填しています。）

平成30年度は、モーターボート競走事業会計から一般会計へ1,500,000千円繰り出し、一般会計から各特別会計へ合計6,529,452千円繰り出しました。

一般会計の款別決算額比較表

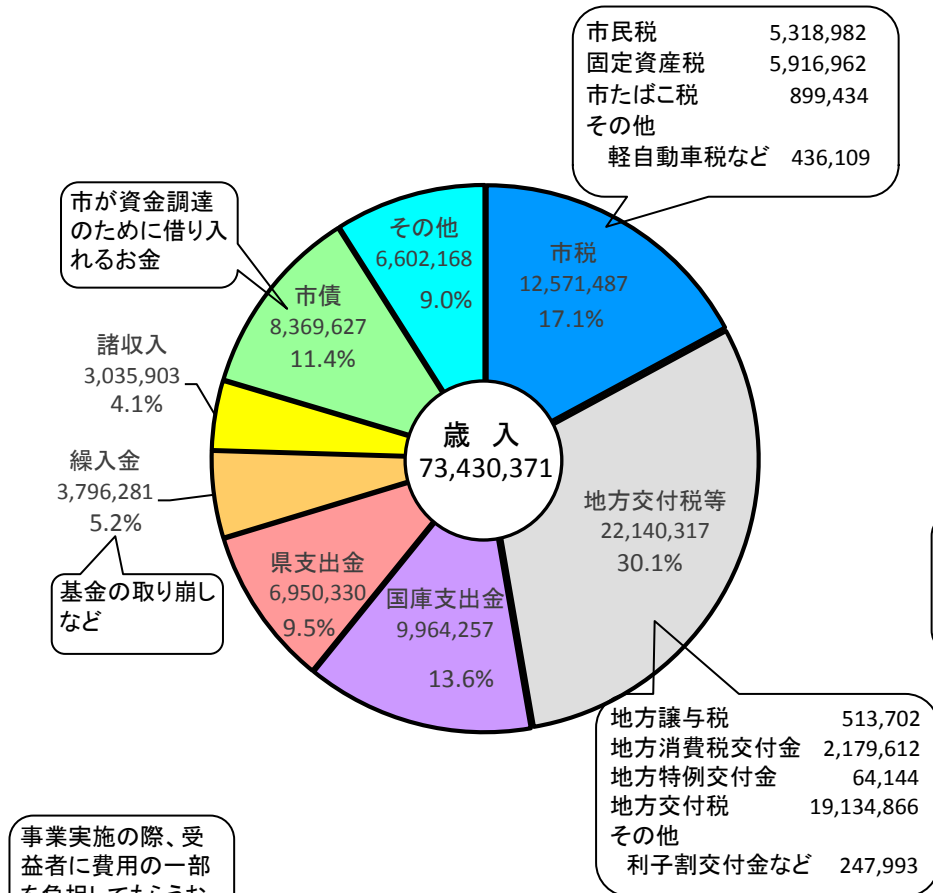
(単位 千円、%)

歳 入					歳 出				
款	平成30年度 予算現額 (A)	平成30年度 決算額 (B)	対予算比 (B) (A)	決算額 構 成 比	款	平成30年度 予算現額 (A)	平成30年度 決算額 (B)	対予算比 (D) (C)	決算額 構 成 比
1 市 税	12,547,593	12,571,487	100.2	17.1	1 議 会 費	383,158	376,448	98.2	0.5
2 地 方 譲 与 税	508,131	513,702	101.1	0.7	2 総 務 費	11,937,586	11,611,005	97.3	16.0
3 利 子 割 交 付 金	24,310	22,461	92.4	0.0	3 民 生 費	22,208,039	21,745,020	97.9	30.0
4 配 当 割 交 付 金	42,957	27,218	63.4	0.0	4 衛 生 費	7,397,723	7,114,894	96.2	9.8
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	39,445	25,439	64.5	0.0	5 労 働 費	51,020	51,020	100.0	0.1
6 地 方 消 費 税 交 付 金	2,134,230	2,179,612	102.1	3.0	6 農 林 水 産 業 費	4,935,792	4,587,904	93.0	6.3
7 ゴルフ場利用税交付金	33,000	33,680	102.1	0.0	7 商 工 費	2,128,969	2,086,812	98.0	2.9
8 自動車取得税交付金	119,721	114,868	95.9	0.2	8 土 木 費	6,056,725	5,589,428	92.3	7.7
9 地方特例交付金	64,144	64,144	100.0	0.1	9 消 防 費	2,896,121	2,838,313	98.0	3.9
10 地 方 交 付 税	19,097,170	19,134,866	100.2	26.1	10 教 育 費	9,230,167	7,874,444	85.3	10.9
11 交通安全対策特別交付金	29,000	24,327	83.9	0.0	11 災 害 復 旧 費	2,174,714	624,979	28.7	0.9
12 分担金及び負担金	679,922	658,730	96.9	0.9	12 公 債 費	8,080,126	8,054,809	99.7	11.1
13 使用料及び手数料	1,354,720	1,342,900	99.1	1.8	13 予 備 費	43,648	0	0.0	0.0
14 国 庫 支 出 金	11,398,159	9,964,257	87.4	13.6					
15 県 支 出 金	7,311,500	6,950,330	95.1	9.5					
16 財 産 収 入	205,218	104,785	51.1	0.1					
17 寄 附 金	3,650,358	3,643,519	99.8	5.0					
18 繰 入 金	4,117,564	3,796,281	92.2	5.2					
19 繰 越 金	852,234	852,234	100.0	1.2					
20 諸 収 入	2,971,485	3,035,903	102.2	4.1					
21 市 債	10,342,927	8,369,627	80.9	11.4					
歳 入 合 計	77,523,788	73,430,371	94.7	100.0	歳 出 合 計	77,523,788	72,555,076	93.6	100.0

(備考) 端数整理のため合計額が一致しない部分があります。

一般会計歳入歳出決算額構成比図表

(単位 千円)



市民税	5,318,982
固定資産税	5,916,962
市たばこ税	899,434
その他	-
軽自動車税など	436,109

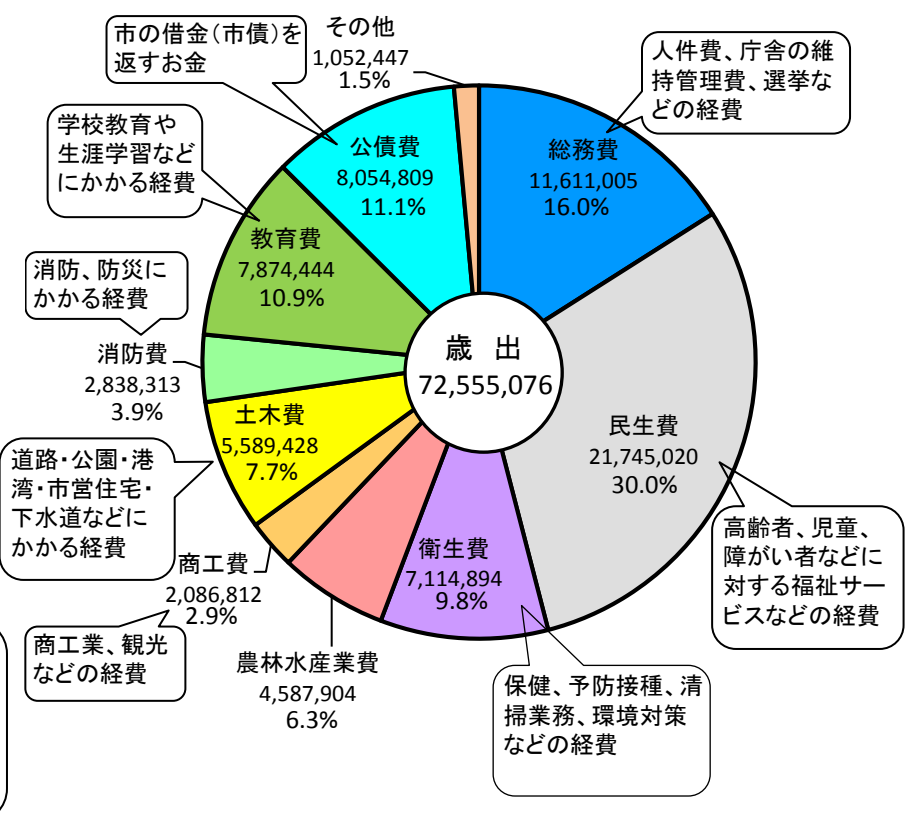
地方譲与税	513,702
地方消費税交付金	2,179,612
地方特例交付金	64,144
地方交付税	19,134,866
その他	-
利子割交付金など	247,993

事業実施の際、受益者に費用の一部を負担してもらうお金

その他の内訳

分担金及び負担金	658,730	0.9%
使用料及び手数料	1,342,900	1.8%
財産収入	104,785	0.1%
寄附金	3,643,519	5.0%
繰越金	852,234	1.2%

施設の使用料や戸籍などの発行手数料



その他の内訳

議会費	376,448	0.5%
労働費	51,020	0.1%
災害復旧費	624,979	0.9%

市債の残高（平成30年度末）

市債とは…市が大きな事業を実施する際に、資金を調達するために借り入れる市の借金にあたるものです。

(単位 千円)

区分	市債現在高 (A)	地方交付税算入額 (B)	純償還額 (A) - (B)
一般会計	85,088,531	61,081,807	24,006,724
特別会計	45,115,697	20,444,570	24,671,127
公営企業会計	13,246,745	2,082,441	11,164,304
合計	143,450,973	83,608,818	59,842,155

※地方交付税算入額は、市債を借り入れた事業に対して国から交付される地方交付税の額です。

※表の純償還額のほかに、市債の利子の償還もあります。

基金の残高（平成30年度末）

基金とは…特定の目的や、不測の事態に備えて、積み立てたり取り崩したりしている、市の貯金にあたるものです。

(単位 千円)

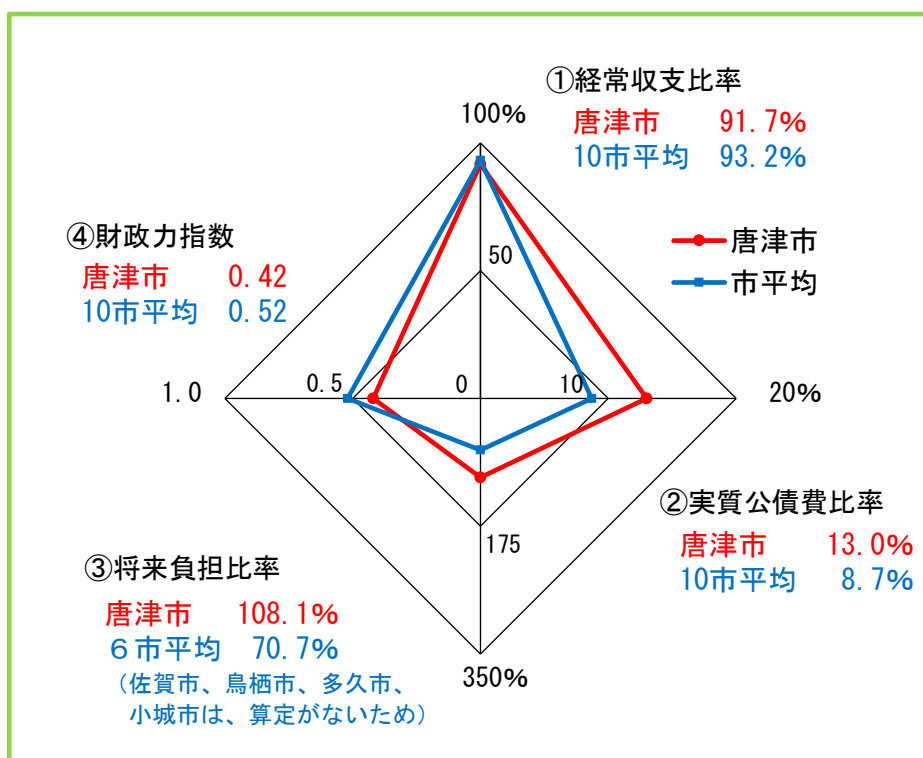
	基金名	平成30年度末残高	基金名	平成30年度末残高
一 般 会 計	財政調整基金	2,054,582	ふるさと水と土保全基金	50,115
	減債基金	512,942	可動堰維持管理基金	142,673
	職員退職手当基金	109,984	上場土地改良事業基金	8,170
	公共施設整備基金	1,757,486	七山山林基金	27,232
	ふるさと寄附金基金	1,648,866	水産業活性化支援基金	56,712
	大学等連携基金	88,189	特産品販売施設管理運営基金	984
	国際交流基金	18,797	唐津市民交流文化基金	196,610
	過疎地域自立促進基金	87,961	みなとまちづくり基金	42
	響創のまちづくり基金	4,859,768	まちづくり基金	34,931
	ふるさと振興基金	256,290	七山瀬戸享人材育成基金	109,779
	発電用施設周辺地域整備事業に係る公共用施設維持基金	244,252	図書館資料整備基金	1,785
	人材育成基金	31,423	文化基金	69,464
	離島振興基金	0	土地開発基金	1,635,130
	福祉基金	772,397	肉用牛特別導入事業基金	136,734
	地域振興基金	13,537	奨学基金	334,444
一般会計 小計				15,261,279
特 別 会 計	国民健康保険基金	0	国民宿舎基金	24,216
	国民健康保険高額療養費等資金貸付基金	10,053	海中展望塔運営基金	177,384
	介護保険基金	232,043	有線テレビ運営基金	1,164,688
特別会計 小計				1,608,384
業 公 会 営 計 企	唐津市モーターボート競走場基金			0
	公営企業会計 小計			
合計				16,869,663

※千円未満を四捨五入したため一致しない部分があります。

決算を市民1人あたりに換算すると（前年度と比較）

	平成30年度 平成31年3月31日現在人口 121,890人	平成29年度 平成30年3月31日現在人口 123,107人
歳入（一般会計）	602,431円	568,236円
歳出（一般会計）	595,250円	556,439円
市債現在高（一般会計+特別会計）	1,068,211円	1,059,118円
基金現在高（一般会計+特別会計）	138,401円	136,198円

主な財政指標（県内10市平均との比較）



- ① 経常収支比率… 人件費、扶助費、公債費等の義務的性格の経常経費に市税、地方交付税、地方譲与税等を中心とする経常的な収入である一般財源がどの程度充当されているかという割合で、財政構造の弾力性を判断するための指標です。75%を超えないことが望ましいとされています。
- ② 実質公債費比率… 標準的な自治体の収入に対する負債返済の割合を示す指標で、18%以上の団体は、市債の借り入れについて許可が必要となります。
- ③ 将来負担比率… 一般会計等の市債や、地方公社や損失補償を行っている出資法人等に係るものも含め、将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高を勘案し、将来、財政を圧迫する可能性の度合いを示す指標で、350%を超えると財政健全化計画を定めなければなりません。
- ④ 財政力指数… 財政力の強さを表す指数で、「1」に近くあるいは「1」を超えるほど財政力が強いとされ、単年度の指数が「1」を超える場合は、普通交付税の不交付団体になります。